

(1) 昭和二十三年七月一日

何處國へよゆくは

祖國よ汝は  
何處へゆく

人間らしく育て上げるのを目的とし、その方法は人間らしき方法で行われなければならない。人間らしく育て上げるといふのは人間性をおさえず、ゆがめずに発展させ、立派に仕上げることである。

人間性とは、人間の本性といふ意味であり、其の本性とは他のすべての動物ももつてゐるところのいろいろの欲望感覺、感情等の外に、人間のみのものつてゐる自由な意思をもつて、道理にかなつた生活を正しく善い生活、美しく心地よい生活、信心深くつゝまじやかな生活を送り度い希望、言いかえれば眞、善、美、聖を追求する貴い精神である。この人間性のあらわれ方は各人においてそれぞれちがつ

## 新制高校発足に際して

岡田

四

つ。人間性をのばすといつても  
一人一人の個性を完成するこ  
とに外ならない。  
教育は常に成長し永遠に伸  
びつゝあらねばならない。停  
滯退歩は教育の意義に反する  
過去の學校教育の一定の型  
にはめようとしたこと、學術  
面の唯々文字學間に終始した  
ようなことは教育の意義とは  
おそらく遠いものである。  
倫理道徳の面に於ても社會  
の變遷進歩を少しも顧慮せず  
に、長い過去に於ての習慣よ  
り、永遠の眞理なるが如く、  
無意味におしつけて、生徒自  
身は四六時中自分以外の他人  
をあてにして小心翼々、まる  
で他人のために生活している  
ように強いて來た。

が一陛下には何物か残りませ  
うか」と問うた時、大王は唯  
一語「希望」と答えたという。  
「希望」何と壯快な響きの言  
葉であろうか。この言葉が廿  
三才の大王によつて發せられ  
た時、歴史は彼による空前の  
大帝國統一へと動き出してゐ  
たのである。二十才の青年に  
して希望なき人生に甘んずる  
は、怠慢にあらざれば卑怯で  
ある。われらは不幸なる戦争  
によつて多くのものを失つた  
が、希望即ち精神の自由のみ  
はいさゝかも疑つてはならな  
い。そこに文化があり、平和  
がある。祖國日本をして文化  
國家、平和國家たらしめるた  
めには、それを實現するため  
の切實な努力が必要である。  
しかもこの困難な仕事をなし  
得る根本の力は、一にかつ

も高い、然し道徳の本質は常に生きでいて時代と共に向上變化して行くもので固定した死物では決してない。

學術面又は道徳面に於ても同様「どうしたらば一面に於て古代より傳わつて來たよい點を保存しながら、一面に於てよく現在の一出来れば未來の環境に適應するような人間が出来るよう教育が出来るか」の課題が課せられている。

健全なる學習の在り方、健全なる道徳の樹立が課せられている。

この辯決は決して教師の個々の責任ではなく、むしろ生徒者であり、補導者である。自己の學習態度は自己自ら

て精神力であり、祖國愛は世  
らない。日本人、われら日  
人は死ぬであろう、しかしも  
本、祖國日本は決して亡び  
はならないのである。われ  
の子孫をしてより幸多く  
たらしめねばならぬ。やが  
一切の屈辱の拭はれて、祖國  
再び光榮の輝く日を期待し  
うではないか。

しかし多くの場合、期待  
裏切るものは勇氣の欠如で  
る。世に善人は多い。しか  
眞に義に勇む心を持たない  
めに無爲に終ることも亦多  
嘗て第一次大戦に敗れたト  
ツの歴史教科書の最後に大  
文字が誌されていた。『汝  
ドイツの將來、ドイツ民  
の復活を信ぜよ、たとへい  
なる事ありとも、何事の起  
うとも、此の確信を失うこ

日本なにかね、ドイツの運命は汝の双肩にかかる、責任は正しく汝のものである!「偉なる」な斯の言、このドイツの語を日本に換へる時、われらをして眞に奮起せしめずにはおないであらう。

青年の希望と勇氣、これぞわれらの誇りであり、ギリシャへの約束である。ギリシャ滅亡の原因を顧みて思うは、國心と道徳高揚することの重要である。かくてこそ統一する國家組織を、責任を自覺した民主政治を、自助勤労的精神を期待し得るのである。

あゝわれら青年學徒が、和平の希望に胸血をたぎらせ恐れて屈するなき炎々たる氣に心を一にして進むとき、祖國再建途上の苦難と困難それ何物であろうか。

## 住高と同居の阿部野高校

# 重見文房具店

は望ましにはげ状況は反対はされ経験は生き事がままだとは思ひます。藤谷（あまいか）によると、マルクスの親友エンゲルスがシニミットに宛てた手紙の一節に曰く「ありがた迷惑な味方といへばこの頃は唯物史觀にも、また、それを歴史を研究しない、口實に利用するこの種の味の方をおびきしき」とある。マルクスは曾て七十年代のフランスの政治家マルキシストに辟易して「俺はたゞ俺がマルキストではないことを知る」と通りの有様である」といふ。

重見文房具店  
（戎橋北入ル）  
心齋橋筋二丁目  
時事問題授業料値上反対運動に就て  
最近、益々活潑の度を加へつゝある授業料値上げ反対運動については、五月以來本校で對策委員會を設置してこの運動につき對策を練つて来たが、六月二十四日を期して、大學高等などの自治連では全國一齊にストライキに入る事となつた。そこでこの運動について、我々はどう考えればいいと思います。  
ところで君達の府立高校の事が、今の阿部高の生の様に萬事親がかりである達には、むしろ關心のうする事であるだらうし、學業に心する方が良いだらうから徒の問題よりP・T・Aのり上げるべき問題だらうと。それで諸君は家の收入

は  
責任は多く窮屈但いが不思議な事だ。女生徒も甘すっぱいセンチメートルで戀愛至上主義を反省すべきだ。戀愛と友愛の區別が必要だ。戀愛は感情の海に漂い、友愛は理性の岸に立つ。清純な感情を健全な理性で支える點に学生のよさがある。最近生徒はおかげでゐるのは、學生のよさではないか。希望、理屈、信念にあこがれる學生らしきのない青年は、精神的畸形兒に等しい。尤もこの頃は畸形兒全盛の世の中だから、數氣に浮かされて三途の川で涼みするため心中でもしまくなるのかも知れぬ。しかし同じ心中をするなら金も名も命もいらぬといった大西翁のやうに、國家と心中するの畸形兒が出てほしいものだ。

△戦争よりての「死に方」に、いかにかたるか。人間の死に方には、幾變遷がある。たゞ、戰死、燒死は戰時の死による殺人、毒殺の流行となつた。病死などは天命を全した方である。△近頃心中事件が二つ。これは、自分で死を選ぶのだから甚だ勇敢である。命を賣る男に較べると、これは命の投げ賣りである。食糧難の折柄別にとめる程の理由もない。△もつとも心中した太宰治は、平凡に病死した織田作之助よりも、變死だけ有名になつた。彼の最後の作品「グットバイ」喜劇的な結末である。△ところであなた四十四才の教師と十七才の女學生との心中は、師弟愛といふ。

が作り上げ、自己の道徳性はやはり自己が建設して行なへばならない。これを他にやめるが如きは決して當を得るものではなく、又健全なるものは絶対に出来るものではある。今はすべてに於て改革の時代で、何れ可なる

立  
る歡喜の中に常に浸つて居た  
か求ねばならない。  
近時、この歡喜の中にあつて、幸福境に居る人も多い  
とではあるが、中には何等目下吾人の黎明期を知らず、何等反省もせず、過去の望ま  
からざる舊習慣に盲従し、或

行動に出たり、好ましくない  
野卑な言を弄したりして一  
的快哉を味わい、自己の德  
を故意に傷けつゝある者も  
受けられる。これはまこと  
歎かわしい極みである。  
光明世界への行進は人間  
本能的欲求であり、その欲

（日曜日）P.T.A.例會  
例會が講堂に於て開催された。當日來校の父兄母姉は百名程度で、午後一時頃より始まつた。續いて宝





